



公式SNS

上越でかがやく若者たち

■問合せ…総合政策課 (☎025-520-5624)

市内でまちの活性化やにぎわい創出に向け、さまざまな活動に主体的に取り組む高校生を紹介します。

幼い頃にパリコレを見た影響でファッションに興味を持ち始めました。頭の中にあるイメージを「服」で表現したいと思うようになり、中学生の頃に、祖母に習いながら本格的な服作りを始めた。当初は実用性を無視したデザインの服ばかり作っていましたが、祖母から「せっかくならちゃんと着れる服を作ってみれば」と言われたことがきっかけで、「ファッションショー」を意識した衣装制作を

活動を始めたきっかけ



ファッションデザイナーを目指して活動中

山川 アンドレさん
(高校2年生)

高校1年生のときから衣装のデザインや制作の活動をスタート。上越のまちを舞台にしたファッションショーの開催などに取り組んでいる。



するようになりました。

活動の目標

個人的な創作活動のほか、昨年7月、通っている学校に衣装の制作や発信を行う「モード部」を立ち上げ、10月に他校の生徒も交えながら高田本町商店街でファッションショーを開催しました。今後も地元上越でいろいろな人知ってもらうため、市内を会場にしたショーを開催したいです。将来的には誰が見ても「アンドレのデザインだ」と認識してもらえるような世界的

なデザイナーになりたいと思っています。

同世代に伝えたいこと

私は「やりたいこと」や「心から好きなこと」に素直に向き合い、挑戦し続けることを大切にしています。あなたの夢を叶えられるのは、あなた自身です。周囲の声に戸惑うこともあると思いますが、勇気を持って一歩踏み出すことが人生を大きく変えるきっかけになると信じています。

現在、インスタグラムで活動を発信しています。ぜひ皆さんも新しい目標へ向かって挑戦してみませんか。



友人をモデルに撮影した、自主制作衣装

広報対話課から

(☎025-526-5111)

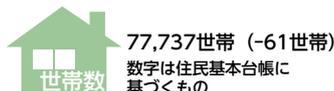
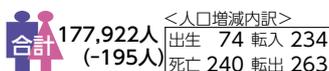
「広報上越3月号」は、2月19日(☎)・20日(☎)に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

上越市ホームページアドレス <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

♻️70 (古紙パルプ配合率70%再生紙を使用)

上越市の人口・世帯数

令和8.1.1現在。()は前月との比較



表紙のこぼれ：子どもの笑顔と安心を、地域とともに

こども食堂の一つ「さとまる食堂」を訪ねました。中郷小学校の多くの児童が参加し、年代の垣根を越えてスタッフとも親しく過ごしている様子が印象的でした。ハンドベル体験やケーキ作りなど盛りだくさんのイベントを楽しみ、子どもも大人も終始笑顔に溢れ、地域みんなの居場所になっているように感じました。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。